

## 計画案での修正点について

- 国を挙げた「資源循環」の拡大が求められる現状を踏まえ、リサイクル率の目標については、現行目標を維持し、官民挙げた取組を推進して参りたい。
- ごみの排出量や処理経費、リサイクル率については、一般廃棄物の処理主体である市町村ごとに差異がある状況。  
今後、県として、処理計画策定後のフォローアップとして、各市町村ごとの状況をヒアリング・一覧化した上で、情報共有を図るとともに、原因（収集方法や施設の老朽化等）や、具体的な対策について、市町村の主体的な取組を後押しすることで、連携して改善を図って参りたい。  
なお、今回の本計画案には、現時点での各市町村独自の廃棄物対策の一覧を掲載する。
- プラスチックごみの削減、リサイクルの推進に向けて、多くの市町村では、ペットボトルの水平リサイクルが展開されている点を新たに記載する。  
また、県として、小型家電のリサイクル率向上に向けたイベント回収の実施や、海洋ごみの意識啓発に向けた海洋漂着物を利用した展示の実施し、普及啓発に努めている点について具体例を計画内で表示する。  
今後とも、国や民間事業者とも積極的な連携を図り、新たな取組を積極的に導入することで、プラスチックごみの削減・リサイクルを推進して参りたい。
- その他、パブリックコメントでいただいた意見等を踏まえ、記載内容について必要な加筆・修正を加えている。